**自主防災隊の行う防災訓練 - ２０１４年度の経験**

**―防災隊本部事務局で防災訓練を担当される方に**

最初に、末尾４、５ページに示す**「２０１４年度本部主催防災訓練および外部講習／訓練への関わり方」**に

そってご説明します。

本部事務局防災訓練担当として、５月２５日の第一回隊長支隊長会議にこの提案を行い、会議では　　　　のように　方向付けされました。提案は、防災隊が自前で企画実行するものと外部組織の実施するものの利用を合わせ考え

て行っています。以下その後の経過や実施の様子を記します。

**防災隊が自前で企画実行する防災訓練**

**Ａ．防災隊本部主催総合防災訓練**

**Ｂ．防災隊本部実施イベント型防災訓練－子ども祭り“防災クイズ”**、

実施の様子は“事例マニュアル” に記しましたので、それらをご覧ください。

**事例マニュアル： ２０１４年度総合防災訓練実施記録　ＭＺＮ－０３**

**事例マニュアル：　２０１４年度子ども祭り防災クイズ実施記録 ＭＺＮ－０４**

**Ｇ．町田市市民部防災安全課の職員を講師に招く防災講習会**

結局のところ実施していません。

 ２０１４年度は隊長・副隊長および各支隊代表支隊長をメンバーとし本部事務局が会議進行を手伝って

進めた“非常時体制”の検討に精力を割かれていたこと、その検討の過程で町田市防災安全課に当面する質問事項はぶつけたこと、１月には町田市生涯学習センター市民企画講座、３月には南地区防災講演会があったこと、また１２月以降小川会館が工事のため使えなくなったことなどがあり、本部事務局防災訓練

担当として実施の具体的提案をしませんでした。

**外部組織が実施するものの利用**

**Ｃ．地域防災学習交流会（ Ｆコース「被災経験者に学ぶ」 ）**

 東京都の委託により株式会社イオタ＊が実施する講習会で、外部からの講師（今回は阪神淡路大震災

体験者）とイオタからの司会者を小川会館に迎えて講演を聴き質疑を交わすというものですが、小川会館の椅子・机、黒板以外の必要機材、テキストは先方で用意され、会場の設営（椅子・机ならべなど）まで先方が行うスタンスです。

毎年度東京都の方から防災隊に案内が来るようですが、インターネットでも情報は取れます。

 　　実施するか（抽選申し込みをするか）どうか、前期か後期か両方ねらうか、どのコースを選ぶか、参加者を

どのようにするかなど検討して進めることになります。

＊ コースによっては他の会社が実施するものもあるようです。

 **Ｄ．立川防災館の５つの体験コーナー（防災ミニシアター、地震体験、煙体験、応急救護訓練、消火訓練）**

**Ｅ．公益財団法人東京防災救急協会の実施する救急手当講習**

 概略「・・・関わり方」資料に記したごとくですが、インターネットでも情報は取れます。２０１４年度は参加実績

無しです。

１

**Ｆ．町田市が実施する自主防災組織リーダー講習会 （「新任班長講習会」）**

 ７月２７日（日）に実施され、小川自治会防災隊からも参加しましたが、参加人数は本部事務局防災訓練

担当としては掌握しませんでした。

２０１５年度も市の方から案内があるはずです。

次に２０１４年度に小川自治会自主防災隊が実施した防災訓練には、**これらの提案の後に発生したもの、 および各支隊が独自に実施したもの**がありますが、それらを合わせて**別紙「２０１４年度 小川自治会自主防災隊**

**防災訓練一覧」**に示します。

**支隊独自に実施したもの**

　　　 「・・・一覧」の中の支隊名の下の欄に記したものは支隊独自に行われたもので、その企画実行に本部

事務局防災訓練担当は関わっていませんので、ここでは記述を避けます。

　　　 なお、各支隊がスタンドパイプ訓練を行っていますが、スタンドパイプ訓練については蜂谷戸支隊が

９月２１日に行ったものが**事例マニュアル： ２０１４年度・各支隊が蜂谷戸支隊　スタンドパイプ訓練実施**

**記録　ＭＢＳ－０３**に記録されていますので、その様子を知ることができます。

**「本部主催 ｏｒ 複数支隊参加」** の訓練

 **ａ．町田市主催 「新任班長講習会」**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・すでに Ｆ．に触れたとおりです。

　 **ｂ．子ども祭り “防災クイズ”**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・すでに Ｂ．に触れたとおりです。

 **ｃ．小川小学校避難施設開設運営訓練**・・・・・町田市市民防災安全課の主催で、小川小学校を避難所とする

 多くの自治組織が参加して行われました。この訓練は市内の避難施設を順に会場として行っているもの

で２０１４年度は小川小学校がそれにあたったということです。この訓練の情報は 小川小学校避難施設運営委員会（１２自治会参加）経由（せんげん支隊窪田代表支隊長参加）でもたらされ、隊長支隊長会議にて対応の方向付けがされましたので、２０１４年度は一連の経過に本部事務局防災訓練担当は

関わっていません。

 なお各避難施設で順に実施しているということから、おそらく２０１５年度には市の防災安全課の主催では

 行われないと推定されます。ただし「小川小学校避難施設開設運営委員会」が強く要望して市の防災

 安全課主催の訓練の実施をはかる、あるいは「避難施設運営委員会」の主催で実施するならその可能性

は残されていると思われます。（窪田代表支隊長談）

以下のうち**ｄ．ｅ．ｇ．ｉ．ｊ．ｋ．**の実施／参加手続きには本部事務局防災訓練担当は関わっていませんので、ここでの説明は避けます。

**ｄ．トランシーバ交信訓練（テスト）（青パト－柳谷戸支隊）**・・・・・青パト責任者と柳谷戸支隊責任者の相談。

 **ｅ．炊き出し訓練（給食給水班）** は給食給水班独自の企画。

**（ｆ**．**後に記します。）**

**ｇ．防災ビデオ映写会**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・本部事務局林さんと蜂谷戸支隊の相談・協力による。

**ｈ．地域防災学習交流会（ Ｆコース 「被災経験者に学ぶ」 ）**・・・・・・・・・・・・すでに Ｃ．に触れたとおりです。

**ｉ**． **トランシーバ交信訓練（青パト－かえで支隊）**・・・・・・・・・・・・・青パト責任者とかえで支隊責任者の相談。

**ｊ**． **町田市生涯学習センター市民企画講座**　**ｋ．南地区防災講演会**・・・自治会あるいは防災隊隊長に情報

がもたらされ、その後の展開にも本部事務局防災訓練担当は関わっていません。

**２**

**ｆ．総合防災訓練　〔各支隊ごとの旗出し訓練、 蜂谷戸公園に集合する間の負傷者搬送訓練＆トランシーバ**

**交信訓練（青パト・本部スタッフ）、 蜂谷戸公園の全体訓練、 炊き出し訓練（給食給水班） を含む。〕**

**・旗出し訓練** は蜂谷戸公園への集合時刻のみ合わせてあとは支隊独自に、

 **・負傷者搬送訓練およびトランシーバ交信訓練** は総合防災訓練の実行委員会（本部事務局防災訓練

担当参加）の中でやり方を整合して、

**・炊き出し訓練** は基本的に給食給水班が小川会館で独自に、ただしそこでできたα米ご飯を蜂谷戸公園

会場でおみやげに配ることだけ同上実行委員会の中で整合して、

それぞれ行ったものです。

　　　　**・蜂谷戸公園の全体訓練** については１ページＡ．に記したごとく、**事例マニュアル： ２０１４年度総合防災**

**訓練実施記録　ＭＺＮ－０３**　に記しましたのでそちらをご覧ください。

 最後に、期の初めに防災隊の行う訓練には下表に示すようなものがあり得ると整理して訓練を展開して

きましたが、ご参考までに上述の各訓練を表の該当する（なるべく近い）マスに入れて見ました。

**防災訓練の形式・内容、訓練対象と実施主体**○は基本的なイメージ　吹き出しは２０１４年度実施実績

訓練の形式・内容

支隊

防災隊本部・専門班

企画・実施主体

町田市生涯学習センター市民企画講座

支隊

活動隊員

支隊

隊員一般

支隊を

またがる　隊員一般

支隊を

またがる　活動隊員

訓練対象

南地区防災講演会

地域防災学習交流会

「被災経験者に学ぶ」

〇

**〇**

**〇**

① 外部防災講習・防災訓練

（防災隊本部は窓口機能／支隊への案内／参加勧奨を行う。）

　　訓練内容は種々

町田市主催新任班長講習会

支隊長班長訓練６／１５

小川小学校防災避難所訓練

総合防災訓練　１０／４

**〇**

**〇**

② 総合防災訓練

④⑤、あるいは⑥も交えた、ばあいによっては⑦も交えた、

総合防災訓練

支隊総合防災訓練１１／１６

第２回支隊防災訓練９／２８

**〇**

**〇**

**〇**

③ 知識・イメージトレーニング

　　過去の災害の記録－全体の姿・トピックス・何に困ったか・救援（公助・ボランティア）の実際－や、小川自治会防災隊の活動状況や今後の方針などを映像・画像を交えて紹介し、共助・近所・自助の取り組み意識を高める。

防災ビデオ映写会

各支隊の

スタンドパイプ訓練

トランシーバ交信訓練

炊き出し訓練（専門班）

**〇**

（高レベル）

**〇**

（基本初歩）

**〇**

④ 個別技術技能訓練

ア）情報・広報　　イ）避難誘導　　ウ）防火・消火　エ）救出・救護　　オ）給食・給水・非常用トイレｅｔｃ．

**〇**

**〇**

**〇**

⑤ 総合実地演習

なるべく災害の実相を想定して、個別訓練によって習得した知識

技術を総合して行う実地演習

負傷者搬送訓練

**〇**

**〇**

⑥ 希望者（隊員一般）に、“自助の”取っ付き難いことがらの

やり方を説明。　場を設けたり、必要なら希望者宅に活動隊員が出向いて支援する。

総合防災訓練１０／４の展示（パネル・現品）

・パンフ配布

感震ブレーカー・災害伝言板１７１・家具転倒防止・非常用トイレなど

**〇**

**〇**

⑦ イベント型訓練

隊員が多く集まるイベントのときに防災要素（防災クイズｅｔｃ．）を組み込んで行う訓練

子ども祭り防災クイズ

３

**２０１４年度　　第１回　隊長・支隊長会議　提案資料**（一部改変して事務局引継ぎ用に転用しています。）

**２０１４年度　本部主催防災訓練、および外部講習／訓練への関わり方**

２０１４．０５．１９　防災隊本部事務局　防災訓練担当　中泉　宇津木

**Ａ．防災隊本部主催総合防災訓練　　　　　　提案通り。　（日程は当初予定の１０月２５日（土）から、最終的に　１０月４日（土）に変わった。）**

　　**事例マニュアル： ２０１４年度総合防災訓練実施記録　ＭＺＮ－０３**参照ください。

（オリジナルの提案資料に記したやり方の説明などはここでは削除しました。）

**Ｂ．防災隊本部実施　イベント型防災訓練　　　　　 提案通り。　８月３０日（日）に実施**

　　子ども祭りにおいて、簡単な“防災クイズ”を行い、正解者（の一部？）に賞品を出して楽しんでもらいながら

防災への関心・意欲を高める取り組み。

**事例マニュアル： ２０１４年度子ども祭り防災クイズ実施記録　ＭＺＮ－０４**参照ください。

 （オリジナルの提案資料に記したやり方の説明などはここでは削除しました。）

**Ｃ．地域防災学習交流会　 Ｆコース「被災経験者に学ぶ」 を実施　する方向で進める。（後期１１月**

**以降実施の申し込みをする。）**

**・・・抽選に当選し、１１月９日（日）にＦコース「被災経験者に学ぶ」 を実施**

 理由・・・私たちは今「机上論＋精一杯の想像」で事を運んでいるが、現実を突き付けられ実感をもって

事を運ぶようになることは、喫緊の要事。

**参考** ・小川会館で実施可能　・会社所属の司会者と被災経験者の講師が来演　　・土・日・祝日も実施可

・無料　 ・９０分（説明・東京消防庁からのお知らせ１０分、学習会５０分、交流会３０分）

・受講者２０名～５０名くらい。

・本年度前期は申し込み終了、後期（１１月以降）からがねらいになる。（昨年度は抽選はずれ）

　　　 ・半期にＡ～Ｇコース合わせて１００回実施　前後期同じ内容を繰り返す。

 ・Ｄコース「災害時要援護者への対策」、Ｇコース「地域防災における男女共同参画の視点」

Ｃコース「避難所運営の手順と方法」も関心があるが、今回のＦコースで様子を見た上、追って順次

取り組んでゆきたい。

**Ｄ．立川防災館の５つの体験コーナー（防災ミニシアター、地震体験、煙体験、応急救護訓練、消火訓練）などの活用**

**今期参加するか・来期以降どうするか、　本隊長支隊長会議にて論議方向付けしたい。**

●**Ａ**．と交互にやるか？　（本年度はやらない。）　 ●**Ａ**．があっても無くてもやるか？（本年度もやる。）

●個人で行きたいという人がいるかも知れないので、常時案内はしておく。交通費も出すというのはどうか？

**参考**

・昨年度小川自主防災隊からも約４０名訪問。

・内容はＡ．と似る。５つの種類の体験を、たぶんＡ**．**よりスマートに密度濃く（用意されている機器の数も多く、一人の使える時間も多い）得られるだろう。

・**Ａ**．のもつ１．（１）（２）の場とはなり得ない。

・防災館は無料だがバス代など費用が約１０万円。 防災隊（実施者や世話役）の工数負担はＡ．より楽。

**個人で行きたいという人のために常時案内はしておく。交通費も出す。・・・参加実績無し。**

４

**Ｅ．公益財団法人東京防災救急協会の実施する救急手当講習**

**活動隊員、および隊員一般に常時案内を出し、参加した結果も生かして防災隊の活動に協力して**

**いただける（堅苦しい約束は不要）人には参加費用と交通費を支給する。**

**進め方：　事務局から資料提供、支隊および本部広報担当に、臨機（今回Ａ．に向けて、など）および常時の**

**広報を行っていただく。　希望者は、支隊長を通じて本部事務局に一報の上参加いただく。**

**コース紹介**

**普通救命講習**　　講習時間：３時間 　教材費：１，４００円

心肺蘇生、自動体外式除細動器（ＡＥＤ）の使用方法、窒息の手当、止血の方法などを学ぶコース

**普通救命（自動体外式除細動器業務従事者）講習**　　講習時間：４時間 　教材費：１，４００円

上記の普通救命講習の内容に加えて、知識の確認と実技の評価を実施するコース

**上級救命講習**　　講習時間：８時間（１日） 教材費：２，６００円

普通救命講習（自動体外式除細動器業務従事者）の内容に、傷病者管理、外傷の応急手当、搬送法を加えたコース　（普通－上級と重ねる必要はなく、普通か上級どちらかを選べばよい。）

**応急手当普及員講習**講習時間： ８時間×３日間　教材費：１２，０００円

普通救命講習、普通救命（自動体外式除細動器業務従事者）講習の指導要領を学ぶためのコース

事前に上級救命講習を受講しておくのが良い。

など。　認定証が出る。　会場：立川防災館、町田市健康福祉会館など。　実施頻度：コースにより異なる。

**希望者は、支隊長を通じて本部事務局に一報の上参加いただく。・・・参加実績無し。**

**Ｆ．町田市が実施する自主防災組織リーダー講習会　　（日程未定）**

**支隊の判断で参加していただく。交通費（電車を使うばあい）支給**

**進め方　市から案内が来たら本部事務局から代表支隊長に案内を出す。**

参考 ・「リーダー講習会」を謳っているが、防災技術を身に付けるとっかかりの講習。

・昨年度小川自治会自主防災隊からも参加した。

　　　　　 **提案どおり支隊の判断で参加していただく。交通費（電車を使うばあい）支給**

**・・・７月２７日（日）「新任班長講習会」として実施され、参加。（**本部事務局防災訓練担当は参加人数　　　掌握せず。）

**Ｇ．町田市市民部防災安全課の職員を講師に招く防災講習会　　本年度は実施しない。**

**参考**

・２０人以上の参加があれば可能。講習の内容の重点の置き方など、相談により調節してくれる。

・数か月以上前に申し入れる。実施日は土・日も可。秋は込んでいる。

・小川自治会自主防災隊は招聘経験なし。

**本部事務局判断**

講師の特性から、一般的な防災の話を聞くのではなく、町田市の防災への備え状況を聞くなどの活用を したい。インフラの防災対策進捗状況、非常用トイレの設置ほか被災者緊急支援の見通し、市施設インフラ復旧見通しなど。また非常時の避難施設および救護連絡所の開設運営に関し、市側の準備はどのように

進んでいるのかを聞き、進んでいなければ、じんわり圧力をかけるなど。

ただし今年度はＡ．に力をそぐため、見合わせる。

　　　　　**いきなりやらないと決めずに、テーマがあれば実施する。・・・結果的には実施せず。**

５

２０１４年度本部事務局防災訓練担当　宇津木記　utsugi0@yahoo.co.jp ０４２－７９６－０８４５